

能登半島地震にあたって

NPO 木の建築フォーラム理事長 大橋 好光

本年 1 月 1 日に発生した能登半島地震により亡くなられた方々に、心より哀悼の意を表します。また、被災された方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

マグニチュード 7.6 で震源深さ 16km の直下型の大地震ですので、大きな被害になる可能性があると思っておりましたが、危惧したとおりとなってしまいました。建物の耐震の関係者として残念でなりません。

さて、このような大きな地震災害の発生後には、それこそあらゆる人材が必要になると考えています。NPO 木の建築フォーラムは、良質な木造建築の普及を目的として活動していますが、地震災害にあたって、一定の役割を果たしてきました。たとえば、中越地震や東日本大震災、熊本地震の際には、地震により内容は異なりますが、板倉構法による木造応急仮設住宅の建設や、復興住宅の設計等、対応に関わった会員がたくさんおります。

今回の地震災害にあたって、役立てることはあるはずだ、と考えております。

NPO 木の建築フォーラムは、500 名の会員を有し、構造の専門家もいれば、設計や施工の専門家、木材関係の専門家など、木造建築に関わるあらゆる分野の人材がいます。対象とする建物も、木造住宅から、非住宅の木造建築、伝統的木造建築まで、対応可能です。中でも、非住宅の木造建築や伝統木造建築は、他の追随を許さない豊富な人材と自負しております。

今後の応急対応・復興・復旧に当たっては、さまざまな能力の人が必要になると思いますが、上記のように、木造建築に関する、あらゆる分野の関係者がフォーラムにはおります。是非、NPO 木の建築フォーラムにお声がけください。できるだけの支援を致します。

石川、福井、富山、新潟各県のフォーラムの会員の皆様へ

被災、お見舞い申し上げます。無事だったでしょうか。心配しております。

さて、上記のように、NPO 木の建築フォーラムは、多くのメンバーを有しております。役に立てることも多いと考えています。

今後、必要になることとして、たとえば、地域の応急仮設の設営、被災後の住宅の復旧に当たっての支援、復興住宅の設計の支援、伝統木造建築の復旧のための調査・復旧計画の立案、町並み復旧のための調査・設計、などが考えられます。

会員の方で、復興・復旧に当たって、上記の活動等への参画を考えておられる方は、当フォーラムへお声がけください。フォーラムでできる支援を考えたいと思います。よろしく申し上げます。